

令和7年度 契約監視委員会

独立行政法人 自動車事故対策機構

開催日時及び場所	令和7年6月4日（水） 14:00～16:00 独立行政法人 自動車事故対策機構 役員会議室 （WEBとのハイブリット方式）
出席者	北村信彦委員長（公認会計士） 堀田一吉委員（慶應義塾大学商学部教授） 古笛恵子委員（弁護士、コプエ法律事務所） 溝田義昭委員（独立行政法人自動車事故対策機構監事） 那須規子委員（独立行政法人自動車事故対策機構監事）
議事次第	○点検事項 1. 調達等合理化計画 （1）令和6年度調達等合理化計画の自己評価(案) （2）令和7年度調達等合理化計画(案) ※関連事項 点検基準に基づく点検 ①競争性のない随意契約 ②一者応札、一者応募 ③競争性のある随意契約(企画競争・公募) ④一般競争  2. 公益法人に対する支出  3. 個別案件
審議概要	別紙のとおり
委員会からの意見表示又は勧告	特に意見なし

## 審 議 概 要

別 紙

委員発言（要旨）	NASVA回答（要旨）
<p>○点検事項 1. 調達等合理化計画 （1）令和6年度調達等合理化計画の自己評価(案)</p> <p>1者応札について、同一事業者による1者入札が継続する懸念があるが、適正な契約方式に移行できる見込みはあるのか。</p> <p>障害者就労施設からの調達について、価格の適正性はどのようにチェックするのか。</p> <p>オープンカウンター方式は、少額随意契約の中で競争性を盛り込んだという理解で良いか。</p> <p>昨今の物価高騰について、予定価格にどのように反映しているのか。</p> <p>オープンカウンター方式の金額の基準内の場合、運用上、少額随意契約とどちらを適用しているのか。</p> <p>ある契約の落札率が100%となっている理由はあるか。</p>	<p>受注者側の事情により、結果として1者応札となっているが、できる限り2者から見積書を徴取するとともに、原則として一般競争入札によることとなる。</p> <p>見積書を事前に徴取し、市場価格と乖離がないか確認を行っている。</p> <p>そのとおりである。オープンカウンター方式は、入札公告と同様にホームページ等に公告を掲載し、見積書を提出する事業者をオープンで募集するものである。</p> <p>予定価格の積算にあたり、事業者から参考見積書を徴取するが、物価高騰を織り込んだ形で提出いただいていると考えている。</p> <p>令和6年度においては、オープンカウンター方式の金額の基準内については、すべてオープンカウンター方式を実施している。</p> <p>参考見積の中で一番安価な価格を参考に予定価格を算出しているため、落札率が100%となる場合がある。</p>
<p>（2）令和7年度調達等合理化計画(案)</p> <p>1者応札について、形骸化している案件については、適正契約検証チームによる検証を行ったうえで適正な契約の方式へ移行すると理解していいか。</p>	<p>1者応札の改善ができないものについては、適正契約検証チームによる検証を行ったうえで、適正契約方式へ移行する形になっているが、基本原則は一般競争入札になる。</p>

委員発言（要旨）	NASVA回答（要旨）
<p>2. 公益法人に対する支出</p> <p>（特段の意見がなかったことから）国土交通大臣へは契約監視委員会として「特段の意見はなし」ということで報告させていただく。</p>	
<p>3. 個別案件</p> <p>千葉療護センター再整備設計業務において、2者が辞退された理由は、資格要件が厳しいから参入障壁になったのではないという理解でよいか。</p> <p>広報業務について、企画競争に4者が上限2億7,000万円の設定で参加されたのか。</p>	<p>そのように理解している。</p> <p>そのとおりである。公告に金額の上限を明記したうえで、その範囲で提案した事業者の中から決めさせていただいた。</p>